

平成 29 年 10 月 23 日

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)

「日本女子大学 家政学部賞」を「東日本支部 標準化を考える会」が受賞

当協会東日本支部の研究会である「標準化を考える会」(代表 田近秀子)は、「JIS L 4129 子ども用衣料の安全性—子ども用衣料に附属するひもの要求事項」標準化における貢献に対し、日本女子大学より「第 10 回 家政学部賞」を受賞することになりました。授賞式は 10 月 26 日に行われます。

■NACS東日本支部 標準化を考える会の活動

<http://nacs-east.jp/kenkyukai/hyoujyunka.htm>

標準化を考える会は、欧米では子ども服に関する安全規格が定められているのに、日本では未だ公的な安全基準が設けられていない事を知り、2009 年頃から日本における子ども服が起因の事故情報や安全基準などについて調べ始めました。報告書や調査結果の公表、そして様々な機関との意見交換などを通じて、安全基準策定の必要性を訴えかけた結果、2012 年に経済産業省主催で子ども服の安全性の JIS 化検討会が発足することになりました。標準化を考える会は、同検討会のワーキンググループ等において JIS の策定に参画し、2015 年 12 月に「JIS L 4129(ヨイフク) 子ども用衣料の安全性—子ども用衣料に附属するひもの要求事項」が制定されることになりました。



<出典> 経済産業省と協同で作成 「JIS L 4129(ヨイフク)」 啓発パンフレット

■日本女子大学 家政学部賞とは (同大学ホームページより)

生活をより合理的で豊かなものにするために、家庭生活や生活環境に関わる諸問題を自然科学的・人文科学的・社会科学的に探求し、人類の福祉に広く貢献する個人および団体の活動を奨励することを目的として、2008 年に創設されました。対象は国内外の個人および団体(会社・グループ)です。

■「標準化を考える会」子ども服 JIS L 4129(ヨイフク)制定までの活動経緯

| 年 | 月 | 子ども服 JIS L4129 (ヨイフク)制定までの活動経緯 |
|---------------|---------------|---|
| 2009 (H21) | 1 | 経済産業省担当者との懇親会「消費者の標準化参画について」 |
| | 9 | (財) 共用品推進機構見学&意見交換「アクセシブルデザインについて」 |
| | 10 | 日本規格協会セミナー参加 子ども服について話し合う機会があった →海外には規格があるのに日本にはない→テーマへ |
| 2010 (H22) | 8 | (8月～10月)店頭/インターネット上での調査 (全日本婦人子供服工業組合連合会のガイドラインの活用状況) |
| | 10 | PIO-NET での子ども服事故事例調査 |
| | 11 | 全日本婦人子供服工業組合連合会で意見交換 |
| | 11 | (11月～12月)子ども服に関する事業者へのアンケート調査の実施 |
| | 3 | 論文「子ども服の安全性と標準化について」作成 |
| 2011 (H23) | 4 | 経済産業省との意見交換 |
| | 6 | 消費者委員会委員長との意見交換 |
| | 8 | キッズデザイン協議会との意見交換 |
| | 9 | 産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学センター長との意見交換 |
| | 11 | NACS主催 標準化入門セミナーの規格運営 「いっしょに考えよう！ 子ども服の安全規格について」 |
| 2012 (H24) | 3 | 論文「子ども服の安全性と標準化についてⅡ」作成 |
| | 4 | NACS東日本支部自主研究発表会「子ども服の安全性について」 |
| | 6 | 日本小児科学雑誌6月号 フード付パーカーによる傷害注意喚起版(事故発生は3月12日) |
| | 7 | 読売新聞朝刊 子ども服安全規格 求める声 |
| | 7 | キッズデザイン大賞 子ども視点の安全安心デザイン 子ども部門リサーチ分野で受賞 |
| | 10 | 経済産業省主催 子ども服の安全性のJIS化検討会発足 (国際標準化先導調査委員会)ワーキンググループ等に参加 |
| | 11 | NHK「くらL解説」「あさいチ」から子ども服の安全規格について取材を受ける |
| | 11 | NACS新潟分科会 消費生活向上のための県民提率事業1年目 「子ども服の安全基準についてのセミナー」で講演 |
| | 12 | NACS西日本支部主催「消費者のための標準化セミナー」で 子ども服の安全基準について講演 事業者と消費者の意見交換 |
| | 12 | 保育の場で子ども服について聞き取り調査実施 |
| | 2013 (H25) | 5 |
| 8 | | 経済産業省 夏休み子ども見学デー参加(1回目)アンケートと聞き取り |
| 9 | | 子ども服の安全性に関する標準化委員会(JIS原案作成委員会)に参加 (NACSは共同事務局担当) |
| 10 | | 日産協「あどばいざあ」の取材 |
| 10 | | NACS新潟分科会 消費生活向上のための県民提率事業2年目 「消費者からみた子ども服の危険性のアンケート調査」 |
| 11 | | 名古屋でのセミナー JIS規格ができるまでの活動報告 セミナー参加者と意見交換 |
| 2014 (H26) | 1 | 子ども服のJIS規格普及開発セミナーワークショップ |
| | 5 | 論文「子ども服に関する安全性のJIS規格策定への歩み」 |
| | 6 | 子ども服のひものJIS規格案 JIS L 4129 公表 |
| | 8 | 霞ヶ関 子どもデー参加(2回目)JIS規格広報、アンケートと聞き取り |
| | 10 | 2014(H26)年度 工業標準化功労者表彰(田近代表) |
| | 10 | 啓発ツール案(パンフレット)アンケート調査 |
| | 11 | 地域連標準化セミナー 9県で10回開催 |
| 2015 (H27) | 1 | NACS新潟分科会 消費生活向上のための県民提率事業3年目 「子ども服をかわいいだけで選んでいませんか？」新潟県内8か所での出前講座 |
| | 1 | 主婦連 JIS規格学習会 |
| | 3 | 子ども服のひものJIS規格 啓発ツール作成 |
| | 5 | 論文「子ども服のひものJIS規格(JIS L4129)制定に参画して」NACS東日本支部 |
| | 5 | 学研の育児情報サイト ママノートの取材を受ける |
| | 11 | 文化服装学院 アパレル品質管理実習室「子ども服の安全性」発表 |
| | 12 | 「子ども用衣料の安全性—子ども用衣料に附属するひもの要求事項」JIS L 4129 制定公示 |

◆公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(通称 NACS)

<http://nacs.or.jp/>

消費生活アドバイザー、消費生活コンサルタント、消費生活相談員などの資格保有者が所属する消費生活に関する専門家団体です。北海道・東北・東日本・中部・西日本・中国・九州に支部を設け、「消費者トラブルの救済」、「消費者教育」、「企業・行政・他団体等との連携」の3本柱を中心に活動しています。通称の「NACS」は、協会の英語表記「Nippon Association of Consumer Specialists」の頭文字です。

◆本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)

広報委員会(釘宮・河嶋)、標準化を考える会(田近・杉田・森口)

TEL:03-6434-1125 <http://nacs.or.jp>